

安全データシート

1. 製品及び会社情報

【製品の名称】 製品の名称 アラート

【会社情報】 会社名 ペントロンジャパン株式会社
 住所 〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17-5F/6F
 電話番号 03 - 5746 - 0316
 FAX 番号 03 - 5746 - 0320

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	皮膚腐食性及び刺激性	区分 2
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2
	皮膚感作性	区分 1
	発がん性	区分 1A(ガラス繊維)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3 気道刺激性
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2 呼吸器系、免疫系、腎臓

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

強い眼刺激

吸入すると発がんのおそれの疑い

吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器の障害;呼吸器系、免疫系、腎臓

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・適切な個人用保護具を使用すること。
- ・適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく顔や手等、暴露した皮膚を洗うこと。

【応急措置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察/手当を受けること。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
- ・皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断、手当を受けること。
 ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
 して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ・眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。
 容器をしっかり閉め、換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務
 委託すること。

3. 成分の組成情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
 成分及び含有量：

成分名	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
PCDMA	-	-	-
EBPADMA	41637-38-1	7-1434	-
ホウケイ酸バリウム	65997-17-3	-	-
二酸化ケイ素	7631-86-9	1-548	-
S 2 ファイバーグラス	-	-	-
その他	-	-	-

- ・化審法： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
- ・安衛法： 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2）

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に
 外せる場合は外して洗浄を続けること。直ちに眼科医の診察を受けること。

飲み込んだ場合 水で口の中をよく洗浄する。意識のない人の口には何も与えないこと。痛みが続く
 場合は、直ちに医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。

皮膚に付着した場合 すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺
 激が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末のいずれも有効。

消火を行う者の保護 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 関係者以外の立ち入りを禁止する。適切な保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。

除去方法 不活性物質(おがくず、ウェス、砂等)で吸収し、密閉できる空容器に回
 収すること。

追加情報 切削作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所
 吸塵装置のあるところで行うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い注意	皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用すること。
保管注意	多湿、酸化剤、還元剤、直射日光、デンタルライト等の強い光を避けること。 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等
保護具	呼吸用保護具 粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用する。 手の保護具 保護手袋 眼の保護具 保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

外観	形状	ペースト状
	色	淡黄色
	臭気	データなし
物理的状态の変化に関する情報		
融点/融解範囲		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
自然発火温度		データなし
爆発範囲		データなし
密度		データなし
蒸気圧		データなし
粘度		データなし
pH 値		データなし
水への溶解性/混和性		データなし
有機溶媒		データなし
水		データなし
固体の割合		データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常条件では安定。
危険な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

発がん性	発癌性あるいは発癌の可能性のある物質としてはリストされていない。
許容濃度	設定されていない。
摂取経路	吸入(ダストの形で)/経口摂取、皮膚や目。

12. 環境影響情報

環境影響に関する情報はなし。

分解性：	データなし
蓄積性：	データなし
魚毒性：	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法

診療使用前は、通常の産業廃棄物と同様に取り扱う。
その他関係法令の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国際規則

海上規制情報

IMDG(国際海上危険物規則)の規定に従う。

航空規制情報

IATA(国際航空輸送協会)の規定に従う。

注意事項

輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物

消防法 非該当

毒劇物取締法 非該当

PRTR 法 非該当

船舶安全法 非該当

航空法 非該当

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

以上は情報提供であり、個々の用途に対する本品及び本記載内容の適合性を保証するものではありません。

改訂履歴

00 2024年3月20日 初版

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社

労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社(2007)

化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編

化学大辞典 共同出版

安衛法化学物質 化学工業日報社

産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版

化学物質安全性データブック オーム社

公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版

化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM

GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

JCIA BIGDr (一社) 日本化学工業協会「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」HP

職場のあんぜんサイト>安衛法名称公表化学物質等 厚生労働省 HP

NITE 化学物質総合情報提供システム nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS 分類結果データベース nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS 混合物分類判定システム 経済産業省